

茨城トヨペット

CSRレポート 2025

Toyopet

since 1956



Web版はこちらから

C

S

R

REPORT
2025



CSR

Corporate Social Responsibility

CSR = 「企業の社会的責任」

CSRとは、企業が利益を追求するだけでなく、
社会や環境へ与える影響に責任を持ち、
企業に関わる全ての人たちからの要求に対し、
企業として適切に応えることです。

編集方針

本レポートは、茨城トヨペット株式会社のCSR(企業の社会的責任)に関する取り組みを、“お客様”“地域の皆様”“取引先”“社員”の4つのステークホルダーの皆さまに対しわかりやすい取り組み報告となるよう努めました。

CSRの取り組みは、皆さまとの対話なしには成り立ちません。本レポートをコミュニケーションの一助としてお読みいただき、巻末のアンケートフォームからご意見をお寄せいただければ幸いです。

本レポートはスマートフォンやPCでもご覧いただけます。

<https://www.ibaraki-toyopet.co.jp/csr>

スマートフォンの方は表紙に記載の二次元バーコードから、
PCの方は上記URLから茨城トヨペットのホームページへアクセスして
ご覧ください。



CSR REPORT 2025

茨城トヨペット CSRレポート 2025

CONTENTS

- 04 **トップ・メッセージ**
大切なことは自ら気づき、チャレンジすること
- 06 **メンバー一人ひとりの「個の力」を「組織の力」へ**
日本一「ありがとう」をもらえる会社を目指して
- 08 **社員への取り組み**
それぞれが個性を活かし、イキイキと働ける環境を作るために
- 09 **学びあい 高めあう**
茨城トヨペット サービススキルコンテスト2024
- 10 **CSR基本方針／環境方針／労働安全衛生方針**
持続可能な発展を実現する社会をめざして
- 12 **社会貢献活動**
地域に密着した企業市民として
- 13 **日本盲導犬総合センター 盲導犬の里 富士ハーネス**
人と盲導犬が笑顔で歩く社会へ
- 14 **トヨタの福祉車両「ウェルキャブ」の普及活動**
すべての「行きたい」を叶えていきたい
- 15 **With The Community**
地域に密着した企業市民として、茨城トヨペットができること
- 16 **環境保全活動**
地球環境の保護と豊かな社会を実現するために
- 17 **2024年度 環境報告**
地球のため、地域のため、未来のために
- 20 **会社概要・店舗一覧**
県内全域に及ぶ安心のネットワーク
- 22 **ご意見・ご感想**
お客様から寄せられたメッセージ



TOP MESSAGE

大切なことは

自ら気づき、チャレンジすること

Thank you for coming to
**IBARAKI
TOYOPET**

LOVE FOR ALL
ARIGATO!

TOYOPET CROWN

茨城トヨペット株式会社
代表取締役社長

幡谷 俊一郎

「茨城トヨペットCSRレポート2025」をご覧ください。
ただき、誠にありがとうございます。

私たちがこのように事業活動を続けられるのは、
ひとえに日頃よりご愛顧いただいているお客様、
お取引先の皆様、地域の皆様、そして共に働く
メンバーのご理解とご協力があることと
存じます。心より感謝申し上げます。

現在、私たちの暮らす日本は「慢性的な人手

不足」「世界情勢に起因する物価高騰」「地球温
暖化などの環境問題」など、様々な社会課題に
直面しています。

これらの解決を目指す企業市民として、変化
する環境や人々の価値観に適応しながら、地域
社会の活性化、自然保護、文化的貢献といった
企業の社会的責任を果たすことへの思いを、
改めて強く感じています。

PHOTO：茨城県の観光スポット・特産品のイラストが目を引く本社エントランスの壁面グラフィック。本社の女性スタッフが中心になって企画され、2024年に施工。

社内に広がる「ありがとう」の連鎖

私たちは今「日本一『ありがとう』をもらえる会社」を目指し、日々活動しております。お客様から、お取引先様から、地域の皆様から、そしてメンバー同士で「ありがとう」があふれる会社です。

中でもメンバーの間の「ありがとう」のやり取りには、専用の社内コミュニケーションプラットフォームを導入しました。これにより、感謝や称賛を気軽に贈り合うことが日常化しています。

また、ご来店アンケートでお客様から素敵な「ありがとう」の声をいただいたメンバーは、「BEST VOICE賞」として表彰しています。

このようなシステムや表彰を通じて、良い行動や発言を可視化し、多くのメンバーに良い影響が広がることを期待しています。

全メンバーで価値観の共有を

弊社は茨城県内全域に店舗を展開しておりますが、お客様のニーズやご期待は地域によってさまざまです。

そこで、店舗間で異なる情報や事例、価値観を共有する取り組みとして、全メンバーが参加するリモートミーティングを「NP1ミーティング※1」と称し、毎月1回実施しています。

このミーティングは元々新型コロナウイルス対策で構築したリモート会議システムでしたが、約800名のメンバー全員が、他店舗での良い取り組みや現在話題になっていることなどをリアルタイムで情報共有する方法として活用しています。情報伝達の即効性という点からも、非常に有意義な時間であると手応えを感じています。

このミーティングは開始から2年以上になりますが、全員で情報を共有することで話し合いの場も増え、自発的に意見やアイデアを出すメンバーも増えてきたように感じます。

自発的にチャレンジできる環境整備

私は社長の役割とは何かと問われると「環境整備人」と答えています。

会社で何か新しい物事を進める際に、トップダウン方式ではメンバーのモチベーション低下、創造性の抑制、柔軟性の低下といった問題が生じ、主体性が損なわれてしまいます。

上司と部下がフラットに何でも話し合える環境を整えることが、メンバーから自発的に生まれたアイデアやチャレンジを形にする機会となると考えています。

そのため、定期的に各店舗や各部署で1on1面談を行い、メンバーがどのような成長を望んでいるのかを把握し、チャレンジする機会を提供できるよう考えるのが上司の役割であると考えています。

積極的に「学ぶ」ことの大切さ

今、弊社では出張や出向、社内留学制度が活発になっていますが、これらはそれまでにない「気づき」を促す機会として奨励しています。

たとえ同じような商品・サービスを扱う業種であっても、それぞれ異なる切り口やオペレーションに気づき、驚き、面白そうだと感じる思考が始まることを期待しています。たとえチャレンジした結果が失敗だったとしても、必ず次につながるはずです。

一番大切だと思うのは「自分で気づいて行動すること」です。トップダウンではなく自発的に始めたことは面白く、形になった時には他にはない達成感があると思います。

組織がより良くなっていくためには、個々のメンバーの自発的な行動が不可欠です。それを促すために、今後も「自発的にチャレンジできる環境」を作るための整備に積極的に取り組んでまいります。

※1: アンケート調査にて顧客ロイヤルティ（商品やサービスに対する信頼・愛着）を測定する指標である「NPS®(Net Promoter Score)」で日本一になるために全社員で参加する月に一度のリモートミーティング



Spotlight

メンバー一人ひとりの「個の力」を「組織の力」へ



「生涯“笑顔”のお付き合い」の言葉に感動

江戸崎店
フロアコンサルタント
木村スタッフ

お客様からのアンケート結果により今年3月に「ベストボイス賞」をいただくことができました。

普段からお客様がどうすれば心地よく過ごしていただけるかを考えていますので、その気持ちや小さな心遣いを感じ取っていただけたことが嬉しく、ありがたく感じております。

私は以前、長く調剤薬局に勤務していましたが、転職する際に茨城トヨペットの行動勲章にある「お客様と一生“笑顔”のお付き合い」という言葉に感動し、入社を決めました。調剤薬局では体調が回復した患者様とはもうお会いできないので、お客様と一生お付き合いできる仕事はとても魅力的でした。

私にとって接客という仕事は天職であり、一番向いている仕事だと思っています。今の仕事に生きがいを感じていますので毎日が充実しています。

休日によくカフェへ行きますが、店員さんの所作を見て、いいところがあれば取り入れようと研究しています。そんな時間も楽しんでいます。

今後、機会があれば私が学んだおもてなしを他のお店にも広げていければ、と思っています。



さらに上の資格取得にも挑んでいきたい

つくば西大橋店
サービスエンジニア
佐々木スタッフ

私は大学卒業後、他の自動車販売店で営業の仕事、カー用品店でオイル交換や用品取り付けの軽作業の業務などを行っていました。

元々クルマいじりが好きで、カー用品店在職中に三級の資格※1を取得しました。その後クルマにもっと深く関わりたいという気持ちが強くなり、さらに上の資格取得を目指すべく茨城トヨペットに入社し、今年3月に二級の資格※2を取得しました。

自動車整備士資格の取得方法は自動車整備系の専門学校に通うことが一般的です。働きながらの受験はあまり前例もないので、勤務時間外に独学で学科試験の勉強をする日々が続きました。

実技試験の勉強はなかなかできない状況でしたが、本社人財創造課の佐藤さんにご尽力いただき、本社の設備等を実技試験対策に利用させていただきました。

「好き」を仕事にしたいと自動車整備士になりましたが、まだまだ勉強していくことはたくさんあります。茨城トヨペットは正しいやり方を覚えていける環境ですので、今後さらに上の資格取得にも積極的に挑戦していきたいです。

※ 1: 三級ガソリン自動車整備士資格(国家資格)

※ 2: 二級ガソリン自動車整備士資格(国家資格)

日本一「ありがとう」をもらえる会社を目指して 自ら考え、自ら行動し、今日もチャレンジし続ける茨城トヨペットのメンバーたち

レセプションスタッフの可能性を広げたい

GR Garage つくば レセプションスタッフ 金子スタッフ

私は今、3ヶ月の社内留学※3という形でレセプションスタッフとして「つくば学園の森店」から「GR Garage つくば」に来ています。

この職種はお客様対応から書類作成、各スタッフのサポート業務まで多岐に渡ります。さらに自分の仕事の幅を広げられないか模索し、昨年9月に査定士の資格を取り、仕事に活かしています。

GR Garage つくばのようなスタッフ数が少ないお店では一人の仕事量が多くなる時間帯もあるため、この職種の必要性を感じました。また、つくば学園の森店のような大きなお店では来客数が多いため活躍する場面が増えると思います。

この度の社内留学で2つの店舗を比較することで、この職種の重要性を感じ、可能性を広げられる職種であると感じました。それと同時に社内的に新しい位置付けのこの職種をもっと確立していきたい、さらにやりがいを感じられる存在にしたいと考えるようになりました。

そのためにも私自身がもっと経験を積み、知識に厚みをつけていきたいと思っています。

カーライフの伴走者であり続けるために

大宮バイパス店 セールスコンサルタント 鴨志田スタッフ

企業とは、その地域の皆様に愛されてこそ発展していくものだと思います。

少子化が進む日本において私たちができることは何か、私たちの子供世代・孫世代になっても変わらず地域に愛されるお店であるためには何をすべきかを考えました。

まずは子供たちに交通安全の大切さを伝えるため、地域の幼稚園のお祭りなどに参加して交通安全絵本を配ることを会社に提案し、実行しました。

後日、20人くらいの園児たちがお礼の手紙を持って園バスでお店を訪ねてきてくれた時は本当に嬉しかったですね。

地域貢献は続けていくことが大事だと思うので、今後スタッフが変わっても地域に対して感謝の心を持ち続けるお店であり続けたい、そういう風土を作っていきたいです。

私の仕事はお客様にとって共に走るカーライフの伴走者と思っています。茨城トヨペットがあってよかったと言ってもらえるよう、これからもお客様と一緒に走り続け、地域の皆様が集う愛されるお店づくりをしていきたいと思っています。

人生はいつも、いつでも、いつまでも挑戦

世の中には変わってはいけないもの、変わらなくてはいけないもの、そして進化しなければいけないものがあります。

何のために、誰のためにこの仕事をしているのか、そのことを自ら考えることで意識が変わると思います。意識が変わると行動が変わり、行動が変わると結果・成果が自ずと変わっていくものです。

一方、時代は変わりますが私たちの想いは変わりません。

「お客様と一生涯“笑顔”のおつきあい」「カーライフの“快適”と“安全”でお役立ち」の基本理念は変わらず、メンバーが自ら考え自ら行動して、今まで以上に地域の皆様に愛され、選ばれる会社になれるよう邁進して参ります。

人生はいつも、いつでも、いつまでも挑戦だと思っています。メンバーには、色々なチャレンジをしながら切磋琢磨し、お互いに成長していったほしいと願っています。



茨城トヨペット株式会社
会長

幡谷 定俊

社員への取り組み

それぞれが個性を活かし、イキイキと働ける環境を作るために

社員ひとり一人の個性と人間性を活かした能力開発を推進し、社員が十分に実力を発揮できる環境をさまざまな角度から検討し、構築しています。

「人の成長」に重きを置いた採用・研修

茨城トヨペットでは「求める人材像」を明確にすることで、社会に必要とされる人材の採用・育成に力を注いでいます。

入社前・新人・若年時から中堅・管理職を対象とした階層的な研修システムは、「人の成長」に重きを置いて構築されています。

ワーク・ライフ・バランスの推進

仕事と生活のバランスのとれた“ワーク・ライフ・バランス”の実現を推進し、本社では「フレクスタイム勤務」、営業店舗では「時間差勤務」を導入しています。

また2017年8月より「計画年次有給休暇制度(年間6日間)」を導入し、活用されています。

「子育てサポート企業」としてくるみんマークに認定

くるみんマークとは、「子育てサポート企業」として、一定の基準を満たした企業が厚生労働大臣の認定を受けた証です。

茨城トヨペットでは2016年2月に認定を受けています。



ハラスメントの防止

パワハラ・セクハラ等、個人の尊厳を不当に傷つける行為は絶対に許さない決意「ハラスメントは許しません!!」を全社に宣言、職場での悩みごとを職制ラインとは別に相談できる窓口「茨城トヨペットヘルプライン」を設けています。



当社の求める人材像

常に豊かな人間性と向上心をもち、社会の発展に貢献できる人材へ

- ① 短期的視点に限らず、中長期的な視点で仕事に取り組める力!!
- ② 人と人のつながりを大切にし、自ら考え主体的に行動できる力!!
- ③ 幅広い見識を持ち、常に前向きにチャレンジできる力!!

入社前～若年次の研修(一例)



内定者懇親会



内定式ワーク



内定者研修(先輩座談会)



若年次研修(同期から教えてもらおう)



若年次研修(地域貢献活動)



GRレース研修



Spotlight

学びあい 高めあう

茨城トヨペット サービススキルコンテスト2024



高めた技術力を披露する場から、「技術力と人間力」を重視する大会へ



2025年3月3日(月)に水戸千波店テクノショップにて茨城トヨペットサービススキルコンテスト2024が開催されました。

このコンテストは、昨年までの「サービス技術コンクール」から内容がリニューアルされ、今回が第1回大会となります。

今大会は「学びあい 高めあう」をスローガンに、代表エンジニア競技においては、前回までの「高めた技術力を披露する場」から日常業務で求められる「技術力と人間力」の双方を重視する内容へ変更され、審査方法も順位付けではなく絶対評価の金賞・銀賞・銅賞に変更されています。

コンテストには各地域の店舗から選抜された24名の選手が出場。各店舗から駆けつけた多数の応援のメンバーが見守る中、熱戦が繰り広げられました。

【競技結果】

■代表エンジニア競技

- ・金賞 齊藤 悠紀(笠松運動公園店)
- ・銀賞 倉持 秀成(6号取手店)
- 大島 恭平(水戸千波店)
- 重藤 大貴(笠間大島居店)
- ・銅賞 木村 拓也(大津港店)

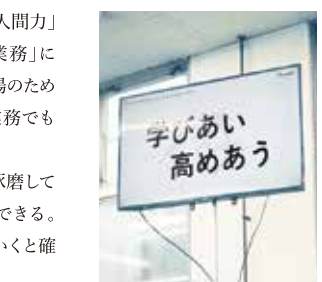
■3年次エンジニア競技

- ・優勝 金沢 拓海(大子バイパス店)

■2年次エンジニア競技

- ・優勝 高巢 晟寿(土浦荒川沖店)

※所属はサービススキルコンテスト2024開催時



人財創造課 佐藤スタッフ

今大会は、私が昨年出場した全国トヨタサービススキルコンテストで感じた思いを弊社のメンバーにも体験してもらいたいという気持ちで、内容をリニューアルしました。

今までは相対評価による順位付けだった審査方法を、今回からは金賞・銀賞・銅賞の絶対評価にしたことで順位を競うライバルから「学びあい、高めあう」同志となり、選手にとって得るものが多いコンテストになったと思います。

代表エンジニア競技は、技術力に加え「人間力」が求められ、今までの大会よりも「日常業務」に近づけた内容になっていますので、大会出場のために学び、努力したエンジニアたちは店舗業務でも必ず活躍できるはずです。

この大会が「憧れの舞台」となり、切磋琢磨して得た技術と人間力でお客様にお役立ちできる。そんなエンジニアが今後ますます増えていくと確信しております。

持続可能な発展を実現する社会をめざして



CSR基本方針／環境方針／労働安全衛生方針

社是

「誠実」

約束を守ること

関係法令を遵守し公正な企業活動と環境保護を行います。

「親切」

気を配ること

社会、ステークホルダーと調和し、信用を第一義とした企業活動を行います。

「スピード」

時間を大事にすること

既存の常識や枠組みにとらわれることなく新たな可能性にチャレンジします。

行動憲章

【お客様に対して】

- 私たちは、【お客様と一生涯“笑顔”のおつきあい。】【カーライフの“快適”と“安全”でお役立ち。】の基本理念に基づき、お客様に真に満足頂ける優れた商品とサービスの提供に努めます。
- 私たちは道路運送車両法、消費者契約法、自動車公正競争規約など関連法令およびその精神を遵守し、お客様に信頼される営業活動を推進します。
- 私たちは、個人情報保護法及びその精神を遵守し、お客様の個人情報保護の徹底に努めます。
- 私たちは、お客様の要請・期待に応えることを第一と考え、公正で誠実な対応を実践し、お客様との絆を深めます。

【社会・環境に対して】

- 私たちは、環境目的・目標を定めて継続的に環境改善に努め、事業活動を通じ地球環境・地域社会との調和ある成長を目指します。
- 私たちは、省エネ・省資源・リサイクルの推進により廃棄物、二酸化炭素を削減し、環境保護と汚染の予防、気候変動の緩和と気候変動への適応に努めます。
- 私たちは、社会・経済の要請に応え、法令等を守り、「人間性尊重」の経営を実践します。
- 私たちは、コミュニティの成長と豊かな社会作りを目指し、社会貢献活動を積極的に推進します。
- 私たちは、交通安全対策へ積極的に取り組みます。

【取引先に対して】

- 私たちは、取引先を尊重し、長期的な視野に立って相互信頼に基づく共栄共存の実現に取り組みます。
- 私たちは、独占禁止法、下請法をはじめとする関連法令およびその精神を遵守します。
- 私たちは、社会通念の範囲を超える利益の供与、申し出、約束をせず、自由で公正な取引を維持します。

【茨城トヨペットのメンバーに対して】

- 私たちは、安全で健康的な職場環境作りに努めます。
- 私たちは、労働関連法令を遵守すると共に必要な自主基準を設け管理レベルの向上を図ります。
- 私たちは、継続的な安全衛生水準の向上を目指し、『作業手順書』に沿った作業の遂行を徹底します。
- 私たちは、危険ゼロ・健康障害ゼロを目指すために、危険性又は有害性等を調査し実施事項を決定して、事故・労働災害の未然及び再発防止を図ります。
- 私たちは、メンバーが生き生きと働けるように、相互信頼・相互責任の精神にのっとり、互いを思いやり、それぞれの考え方や立場を尊重します。
- 私たちは、メンバーが誠実に仕事に取り組み、新しい価値の創造を目指すことができるよう、個々人の自己啓発・成長を支援します。
- 私たちは、機密情報を厳重に扱うとともに、適時的確な情報開示に努めます。

令和6年4月1日
茨城トヨペット株式会社
代表取締役社長 幡谷 俊一郎

私たち茨城トヨペットは、事業の特性を活かした車両提供、盲導犬の育成協力などの活動やスポーツ・教育支援活動など、地域との共生を図る様々な活動も行っており、これらの活動を持続的に行うことは、事業活動を営む重要な基盤になっています。

また、私たちが住む地球のさまざまな環境問題が深刻化していく中、私たちは企業活動における環境負荷削減・環境リスク低減を通じて、持続可能な社会の発展と地球環境保全に貢献していきます。

4つのステークホルダーから必要とされるために



CSRとは、企業が利益を追求するだけでなく、社会や環境へ与える影響に責任を持ち、企業に関わる全ての人々からの要求に対し、企業として適切に応えることです。

私たちにあって社会的責任を果たすこととは、お客様、地球・地域社会、取引先、社員の4つのステークホルダー※のニーズを満たし、満足度を高めることと考えています。

企業価値を高め「地球・地域社会から愛され、選ばれる存在」であり続けるために、社会とともに持続可能な発展を目指します。

※ステークホルダー：企業に対して利害関係を持つ人のこと。
お客様や社員、株主だけでなく、地域社会までもを含めていう場合が多い。

茨城トヨペットが実践するCSRの3本柱



茨城トヨペット CSR活動履歴(概略)

1956年(昭和31年)	11月 水戸市五軒町に会社創立
1964年(昭和39年)	本社現在地に移転
1976年(昭和51年)	ふれあいグリーンキャンペーン開始
1990年(平成2年)	茨城トヨペット杯ゲートボール大会開始
1991年(平成3年)	本社・水戸千波店 新社屋完成
2001年(平成13年)	ISO推進事務局開設 環境マネジメントシステム取組開始
2002年(平成14年)	自動車ディーラーとして県内初のISO認証取得
2003年(平成15年)	茨城トヨペット杯小学生ドッジボール大会開始 ISO14001 定期審査、新たに本社及び8店 認証取得
2004年(平成16年)	ISO14001 定期審査、新たに10店 認証取得
2005年(平成17年)	ISO14001 更新審査、新たに2店 認証取得 レクサスつくば開店
2006年(平成18年)	ISO14001:2004(改訂規格)に移行 市町村合併により一部店舗名称変更
2007年(平成19年)	ISO14001 定期審査、新たに1店 認証取得 全社で環境マネジメント取り組み開始 セーフティーキャンペーン開始
2008年(平成20年)	ISO14001 更新審査(2回目)、新たに4店 認証取得 環境目標に「販売実績に応じて盲導犬基金へ寄付」を追加 第1回 介助専門士養成講習実施 茨城エコ事業所に全店認定
2009年(平成21年)	ISO14001 定期審査、新たに2店 認証取得 古紙リサイクル開始 日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付(第1回) 第2回 介助専門士養成講習実施
2010年(平成22年)	ISO14001 定期審査、新たに1店 認証取得 日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付(第2回) 第3回 介助専門士養成講習実施 太陽光発電を導入したひたちなか昭和通り店オープン
2011年(平成23年)	ISO14001 更新審査(3回目)、新たに1店 認証取得 日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付(第3回) トヨタ原体験プログラム(現トヨタ未来スクール)開始
2012年(平成24年)	太陽光発電を導入した神栖知手店オープン 日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付(第4回)
2013年(平成25年)	ISO14001 定期審査、新たに4店 認証取得 ウェルキャブステーション つくば西大橋店に設置 日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付(第5回)
2014年(平成26年)	ISO14001 更新審査(4回目) 日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付(第6回)
2015年(平成27年)	日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付(第7回)
2016年(平成28年)	ISO14001 定期審査、新たに3店 認証取得 日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付(第8回)
2017年(平成29年)	ISO14001 更新審査(5回目) 太陽光発電、多目的スペース、災害時用井戸を導入したつくば学園の森店オープン 日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付(第9回)
2018年(平成30年)	ISO14001:2015(改訂規格)に移行 日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付(第10回)
2019年(令和元年)	ISO14001 定期審査、新たに1店 認証取得 日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付(第11回)
2020年(令和2年)	ISO14001 更新審査(6回目) 日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付(第12回)
2021年(令和3年)	日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付(第13回) ISO14001 定期審査、新たに1店 認証取得
2022年(令和4年)	日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付(第14回) ISO14001 定期審査
2023年(令和5年)	ISO14001 更新審査(7回目) 日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付(第15回)
2024年(令和6年)	ISO14001 定期審査、新たに2店 認証取得 日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付(第16回) 第4回 介助専門士養成講習実施
2025年(令和7年)	ISO14001 定期審査

地域に密着した 企業市民として

茨城トヨペットは、企業市民として各事業所周辺の皆様との交流を深め、地域社会の活性化、自然保護、文化的貢献など幅広い方面での社会貢献を追求しています。

今後も、地域の皆様の声に耳を傾け、より豊かなまちづくりのため、皆様とともに積極的な活動を進めます。

社会貢献活動

AED(自動体外式除細動器)を 全店舗に配置



全店舗にAED(自動体外式除細動器)を設置し、お客様や社員の安全確保に努めています。

ご高齢の方や体が不自由なお客様はもちろん、どなたでも安心してご来店いただきご相談できるお店づくりを実践します。

幼児向け 交通安全教材の贈呈



県内のご希望いただいた幼稚園や保育所に、交通安全の大切さを楽しく学べる教材をプレゼントしています。

本年度は交通安全絵本「クックのこうつうあんぜんえほん『おまつりにいこう』」を寄贈いたしました。

オールトヨタ セーフティー キャンペーンを展開



各店舗では、もしもの時の災害に備え、非常用保存水を備蓄し、自然災害発生時、被災地への支援に備えております。

キャンペーン期間には店頭にて備蓄していた保存水をお配りしております(数に限りがございます)。

福祉車両 「ウェルキャブ」販売

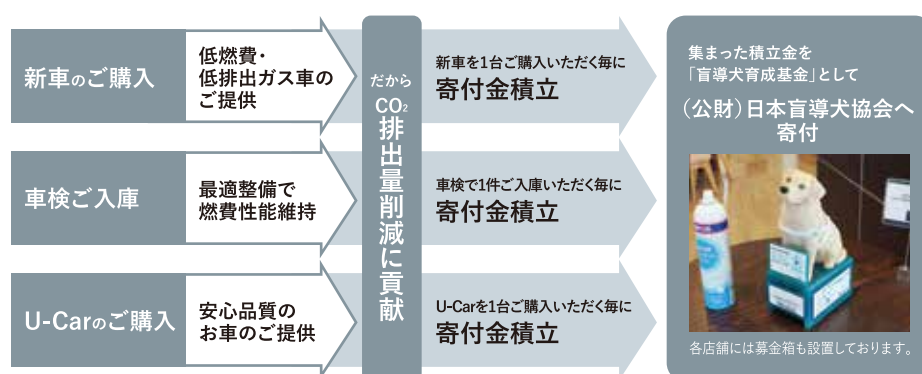
関連記事
P14⇒



「すべてのお客様に移動する自由を」という願いを込めて、2013年4月につくば西大橋店にウェルキャブステーションを設置しました。

ウェルキャブ車両の常設展示や専門スタッフによる適切なアドバイスをしています。

「盲導犬育成基金」を積立て(公財)日本盲導犬協会へ寄付



茨城トヨペットでは2008年から「車両ご購入」「車検ご入庫」1台ごとに売上の一部を盲導犬育成基金として積立てております。

ご購入いただきました皆様も「CO₂の削減に貢献する車を普及」させると同時に積立金を通じ、盲導犬の育成にご協力いただいていることとなります。

皆様のご協力により、当社の基金でこれまでに13頭の盲導犬がデビューしています。

2023年度は盲導犬育成基金として積み立てられた3,055,410円を寄付いたしました。ご協力いただきありがとうございました。



盲導犬新ユニット 出発式

2024年12月5日(木)に新宿区 京王プラザホテルにおいて「盲導犬新ユニット出発式」が行われました。

このイベントは、盲導犬ユーザー様が新たにユニットを組む盲導犬と各ご自宅から「一人で行ったことのない」会場まで公共機関などを乗り継いでお越しになり、盲導犬とともに歩む実感を改めて得る機会となります。

出発式には15組の新ユニットが参加。当日は新しいパートナーである盲導犬と共に会場までいっしょに歩きました。





日本盲導犬総合センター
盲導犬の里

富士ハーネス



日本盲導犬総合センター
「盲導犬の里 富士ハーネス」
静岡県富士宮市入穴381

皆様からご協力いただいている積立金で盲導犬の育成を行っている施設です

予約不要で見学できる盲導犬訓練施設

「日本盲導犬総合センター 盲導犬の里 富士ハーネス」は、盲導犬の一生をトータルにケアすることを目的とした、国内で初めての施設です。

常時見学可能※な盲導犬育成施設は国内では珍しく、実際に盲導犬デモンストレーションを見たり、視覚障害についての理解を深めていただくことができます。

訓練施設の各窓からは雄大な富士山を望むことができ、癒しの空間としてもたくさんの方々に愛されています。

※定休日あり（水曜日、年末年始、臨時休館あり）



センターの機能



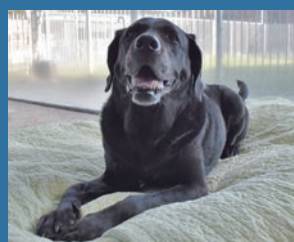
盲導犬訓練センター

盲導犬候補犬は訓練棟で生活しながら施設内や市街地で訓練を進めていきます。そして、盲導犬を希望される方との共同訓練も施設内で行います。



盲導犬候補の犬が産まれる拠点

日本盲導犬協会の盲導犬候補犬たちは富士ハーネスで年間約100頭誕生します。母犬や子犬たちが健康に過ごせるよう設備を整えスタッフがケアをしています。



引退犬のケアができる拠点

引退犬は引退犬飼育ボランティアのもとで過ごします。医療ケアが必要な時や検査時に預かれるよう協会内に設備を整えています。



中部地方の視覚障害者支援拠点

盲導犬ユーザーの共同訓練や定期的なフォローアップだけでなく、目の見えない・見えにくい人の相談会や日常生活訓練などの重要な役割も担っています。



長年にわたり当協会へのご支援を続けて頂き改めて感謝を申し上げます。

私は趣味でマラソンをしており、最近は視覚障害のある方々をサポートするために伴走ボランティアを始めました。

視覚障害ランナーの年齢層は幅広く、またフルマラソンを4時間切の方からウォーキングのみで参加する方まで様々です。伴走者も自身の走力に合わせてパートナーを組み一緒に走っています。

外出をより自由により楽しくするための手段として多くの方が車を自分の用途・趣味にあわせて選ぶことができるように、視覚障害の方がやりたいことを自由に選べる世界は、人が自由に生きるための当たり前の環境であって欲しいと我々は願っています。盲導犬をそのひとつの選択肢として待たせることなく届けたいと思っています。

そのために引き続き一緒にこの事業を進めて頂ければ幸いです。



人と盲導犬が笑顔で歩く社会へ

公益財団法人
日本盲導犬協会
<https://www.moudouken.net>

公益財団法人 日本盲導犬協会
専務理事 山口 義之



トヨタの福祉車両 「ウェルキャブ」の 普及活動



写真はイメージです

「移動する自由」をもっと身近なものへ トヨタの福祉車両「ウェルキャブ」とは

ウェルキャブとは、「移動する自由」をもっと身近なものにするために、ご高齢の方やお身体の不自由な方も快適にお使いいただけるよう、便利な装置や装備の取り付けができるトヨタの福祉車両シリーズの名称です。

Welfare（福祉）
Well（健康）
Welcome（暖かく迎える）

+

Cabin（客室）=



福祉車両「ウェルキャブ」を見て、触れて、理解を深めるイベントを県内各地で開催

茨城トヨペットは「福祉車両について多くの方に知ってもらい、提供することで地域のお困りごとを解決したい」という想いを込めて、福祉車両「ウェルキャブ」を体感していただけるイベントを県内各地で開催しています。どんなクルマを選んだらいいか悩まれているお客さまにオススメの選び方や、使用する際の用途や具体的なお困り事などから、専門スタッフによる適切なアドバイスを行っています。



PHOTO:福祉車両体感フェアの様子

介助専門士の資格を持つ福祉車両のエキスパート「ウェルキャブコンサルタント」を店舗に配置

介助専門士とは、高齢の方や障がいのある方に対して介助の知識や技術を活かし、安心感のある介助を提供することを目的とした資格です。

「ウェルキャブコンサルタント」は、その資格を持ち、ウェルキャブの専門研修を受講した、いわば「ウェルキャブ」のプロフェッショナルです。

茨城トヨペットでは「ウェルキャブコンサルタント」の育成に積極的に取り組んでいます。



PHOTO:介助専門士養成講習の様子

NPO法人 日本介助専門員推進協会のHPはこちら <https://www.nikaikyo.or.jp>



マーケティング戦略課 國武スタッフ

「すべての行きたいを叶えていきたい」というトヨタ自動車の想いを受け、弊社でも地域のお客様の移動に関するお困りごとを解決する取り組みを行っています。

まずはトヨタの福祉車両（ウェルキャブ）を実際に見て触れて体感していただき、福祉車両について広く認知していただくことを目的にイベントを開催しております。

イベントを通じて、ご本人だけでなくご家族にとっても安心して快適なドライブを実現する機会にいただければ幸いです。

また、弊社では福祉車両の専門知識を備えたエキスパート「ウェルキャブコンサルタント」の育成に積極的に取り組んでいます。これからもお客様がお困りのときにご相談いただける、頼っていただける販売店を目指していききたいと思います。



茨城トヨペットの
ウェルキャブについて
詳しくはこちら

With The Community

地域に密着した企業市民として、茨城トヨペットができること

茨城トヨペットは、地域の皆様との交流を深めるとともに
自然保護や地域活性化、文化的貢献などを目的とした
各種施策・イベントの企画・実施や
各種イベントへ車両提供などの活動を展開しています。



トヨタソーシャルフェス(地域清掃活動)

■地域のイベントの企画・協力・開催



星空観察会(城里町)



田んぼでタグラグビー(笠間市)



はた織り体験(結城市)



イベントボランティア(鹿嶋市)

■環境保全・防災イベント、出張授業の企画・開催



地域防災アカデミー



AED学習体験会



キッズエンジニア体験会



小・中学校での出張授業

■スポーツイベント企画・開催・各種大会への車両提供



マラソン大会への車両提供(水戸市・土浦市)



各種スポーツスクール



ドッジボール大会



ゲートボール大会



イベントに
に関する情報は
こちら

ぜひ
お声がけ
ください!

イベントの開催・出張授業などをご希望の企業・団体の方は
右のお申し込みフォーム(二次元バーコード)からご連絡ください。
担当者からご連絡させていただきます。



お申し込みフォーム

地球環境の保護と 豊かな社会を実現するために

かけがえのない地球環境を守り、次の世代へと残していくことが現在を生きる私たちの重要な使命だと考えます。

私たちはより環境にやさしい企業を目指し、自然とのふれあいやクリーンアップ活動等に取り組んでいます。

環境保全活動

環境活動の国際規格、 ISO14001認証取得

茨城トヨペットは、持続可能な開発をテーマに法規制の遵守などにとどまらず、自主的、積極的かつ継続的に環境保全に取り組むためのマネジメントシステムを定めた国際規格「ISO14001」の認証取得に県内でもっとも早く着手してきました。

2001年度にまず2店舗の「ISO14001」認証を取得。順次認証範囲を拡大し、2025年4月現在本社及び38サイトのISO14001認証を取得しています。



ISO14001とは

ISO14001とは、企業や組織が環境保護に取り組むためにISO*が定めた環境マネジメントシステムの国際規格のことです。

ISOより認定を受けた機関が、企業のこの規格に対する適合状況（マネジメントシステムの構築と運用状況）を審査し、合格すれば認証を取得できます。認証取得後も継続して維持審査（定期審査）、更新審査があります。

「販売」「整備」「廃棄」にかかわる過程での環境影響に対応するため【低燃費・低排出ガスの社会への提供】【廃油・廃部品の適正処理】【テクノショップの管理】【CO₂の削減】などの環境目標を設定し、毎年社内監査チームによる【内部監査】、1月には当社の環境マネジメントがISO14001の要求事項に適合して構築・運用されていることを確認する第三者機関による【定期審査】が行われます。

※International Organization for Standardization:国際標準化機構



■ ISO14001認証拠点（2025年4月現在）

本社、水戸千波店、大宮バイパス店、日立田尻店、日立森山店、牛久南店、筑西神分店、石岡東大橋店、江戸崎店、古河東牛谷店、坂東店、大津港店、大子バイパス店、笠間大鳥居店、下妻店、常総石下店、神栖店、守谷松並店、ひたちなか昭和通り店、潮来店、テクノセンター及びU-Car商品課、U-Carセンター6号水戸店、笠間運動公園店、小川野田店、つくば西大橋店、6号取手店、竜ヶ崎出し山店、ひたち野うしく店、神栖知手店、土浦荒川沖店、つくば東大通り店、土浦並木店、U-Carセンター6号みのり店、つくば学園の森店、つくばみどりの店、GR Garage つくば、レクサスつくば、レクサスCPOつくば、レクサスCPO神栖



生ごみを処理し 有機肥料の原料に



本社社員食堂から出た生ごみは生ごみ処理機で処理することで大幅なごみ減量化、ごみ処理費用の削減になります。年間約2,400kg排出していた生ごみは80%以上が水と炭酸ガスに分解され、発酵分解した残りは有機肥料の原料になります。

環境に配慮した事業として 茨城エコ事業所認定



この制度は、事業所の規模や業種等に関わらず、環境に配慮した取り組みを行う事業所を、茨城県が「茨城エコ事業所」として登録して、その取り組みを広く県民に紹介するものです。

茨城トヨペットは、2008年10月14日付けで茨城エコ事業所として登録認定されました。

ユニフォームを回収し、 資源として再利用



茨城トヨペットでは、使用済みのユニフォームを回収し、廃棄物ではなく資源として再生し、自動車の断熱材や防音材等、新たな製品にリサイクルする活動に取り組んでいます。限りある資源を有効に活用し、持続可能な社会の実現に寄与していきます。

全国の自動車ディーラー初 「グリーンでんき」取り扱い



茨城トヨペットは、全国の自動車ディーラーで初めてクルマもお家もCO₂を排出しない「グリーンでんき」を取り扱いいたしております。ご家庭で使用する電気をグリーンでんきに切り替えるだけで、毎日の暮らしから出るCO₂を削減することができます。

※現在、新規申し込みの受付を一時的に停止しております。ご不便をお掛けいたしますが、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

2024年度 環境報告

2024年年度のISO14001 定期審査は、日本自動車研究所認証センターの審査員により2025年1月22日～24日の3日間で行われました。

環境目的・目標

	環境目的	環境目標	環境影響	評価
環境保全型ビジネスの推進	低燃費・低排出ガス車の社会への提供	低燃費車・電動車の普及	地球温暖化防止 大気汚染予防	△
	安心品質のお車の提供	U-Car販売の促進		△
	お客様のお車の燃費性能維持	車検入庫台数 目標達成		△
	安心品質のお車の提供・省資源の推進	鈑金整備台数の向上及び再修理率の低減	資源枯渇低減	△
	盲導犬基金への協賛	新車受注毎の積立	社会貢献 盲導犬の普及	○
		U-Car販売毎の積立		
		車検ご入庫毎の積立		
環境保全活動	CO ₂ の削減	電気使用量の削減	地球温暖化防止／資源枯渇低減	○
		燃料使用量の削減		○
	省資源の推進	古紙リサイクルの推進	森林保護	○
		蛍光灯リサイクルの推進	資源枯渇低減	○
	管理テクノロジー	廃棄物の適正処理	リサイクルの推進と廃棄物の削減	生活環境の保全／公衆衛生の向上
エアーコンプレッサー・洗車機の騒音管理		運用手順の遵守、自主点検の実施	健康障害予防	○
緊急事態への対応		油水分離槽の点検・定期清掃実施	水質保全／公害防止	○
		緊急事態発生時の対処方法訓練実施		○

環境報告

1

低燃費・低排出ガス車の社会への提供

2024年度 電動車販売台数

5,802台

1997年、世界初の量産型HEVとして誕生したプリウス。この世界最高の環境性能を追求したプリウスをはじめとする環境負荷の低いHEV・PHEV・FCEVなどの電動車をお客様にお届けしています。

2

安心品質のお車の提供

2024年度 U-Car小売台数

2,725台

下取したお車の徹底した事前点検と社内クリーニング、エンジンオイルやエレメント交換等の整備を行い、次のお客様に高品質かつ安心の中古車をお届けいたします。「3つの安心※1」をセットにしたトヨタ認定中古車も数多く取り揃えるなど、環境保全型ビジネスを推進しています。

3

お客様のお車の燃費性能維持

2024年度 車検入庫台数 スマイルパスポート会員数※2

34,240台 42,531台

トヨタブランドの高い品質と確実な作業でお客様の愛車の点検・車検整備をスピーディに実施いたします。また、お車の性能維持をサポートするメンテナンスパックメニュー「スマイルパスポート」をお勧めします。

※1:車両検査証明書、まるごとクリーニング、ロングラン保証

※2:2025年4月現在

17

環境報告

ショールーム

- ・お客様のお車の燃費性能維持・最適メンテナンスを目的とした「スマイルパスポート」の販売
- ・積極的に蛍光灯照明器具をLEDに切り替え
- ・解約した古い携帯電話のお引き取り

事務所

- ・CO₂削減のためエアコン温度の設定及び管理（クールビズ・ウォームビズの実施）
- ・事務用品はグリーン商品を積極的に購入
- ・個人情報情報はシュレッダー処理
- ・古紙リサイクルの推進

休憩・会議室

- ・CO₂削減のため、未使用場所・昼休み・休憩時間等の消灯を徹底

4 燃料使用量

2024年度 原油換算使用量

584,585L

ガソリン、軽油、灯油などの燃料を原油に換算して年度ごとの使用量を把握しています。低燃費車プリウスの導入やエコドライブなどによる削減を実施しています。

燃料使用量推移

	01年度【基準年】	21年度	22年度	23年度	24年度
原油換算使用量	1,081,007	617,177	631,846	596,882	584,585
1店舗当たり (2001年比)	30,028	15,053 (50.1%)	15,411 (51.3%)	14,211 (47.3%)	13,919 (46.4%)

単位:L



社用車

- ・CO₂排出量の削減を目的として社用車に電動車を使用
- 運転は「エコドライブ」を徹底

快適にお過ごしいただける
ラウンジ

・お子様が安心してご利用いただけるキッズスペースも完備しております

AEDの設置



盲導犬募金箱の設置



6 省電力

2024年度 使用電力量

4,282,204kwh

省電力タイプ照明・冷暖房器具の採用、こまめな消灯やクールビズ・ウォームビズの導入による冷暖房の温度調整などの励行を行い省電力に努めています。

使用電力量推移

	01年度【基準年】	21年度	22年度	23年度	24年度
使用電力量	4,549,165	3,575,363	3,584,356	3,782,697	4,282,204
1店舗当たり (2001年比)	126,366	85,128 (67.4%)	85,342 (67.5%)	87,970 (69.6%)	99,586 (78.8%)

単位:kwh

5 CO₂排出量2024年度 CO₂排出量3,664t-co₂

電力使用量、燃料使用量削減の結果、1店舗あたりのCO₂排出量も削減しています。

CO₂排出量推移

	01年度【基準年】	21年度	22年度	23年度	24年度
CO ₂ 排出量	5,340	3,329	3,247	2,997	3,664
1店舗当たり (2001年比)	148.3	81.2 (54.7%)	79.2 (53.4%)	71.4 (48.1%)	87.2 (58.8%)

単位:t-CO₂(二酸化炭素トン): さまざまな温室効果ガス(CO₂、メタン、一酸化二窒素などをCO₂に換算し、t(トン)単位で表示した値。

※2006年度より政府によって公表された電力会社の実績値を用いて算定を行うことが出来るため、電力部分の算定にミツウロコグリーンエネルギー公表値を使用しています。

看板

- ・センサー付タイマーで無駄な電力使用を削減





部品庫

・廃棄物の削減、省資源を目的とした
トヨタかんばん方式による在庫部品管理

テクノショップ

- ・日頃から「汚さない作業」と、「汚したらその場で清掃」の徹底
- ・オイルをこぼしてしまった時はウエスですぐ拭き取る
- ・定期的にオイル流出等緊急事態を想定した訓練を実施
- ・自社钣金工場での内製化を推進
- ・水性塗料への切り替え

サービスエンジニア

・整備技能向上を図るため
「トヨタ技術検定」
1級取得を目指し取り組む

7 廃油・廃部品の適正処理

2024年度 産廃処理費用

環境保全は発生源対策が基本と考え、事業活動全般の領域で省資源化・分別、リサイクル推進と廃棄物の削減、汚染の予防に努めています。

廃棄物の種類と主な処分方法

古紙・ダンボール・新聞紙・雑誌等	新たな紙製品に再生
樹脂バンパー【トヨタ車のみ】	自動車部品に再生
バッテリー	回収後リサイクル
廃油	重油に再生
金属部品	金属製品に再利用
プラスチック類／ガラスくず及び陶磁器くず／ 電池／冷却水／シュレッダーくず	回収後、適正に処分 (一部リサイクル)
タイヤ	工場燃料に利用
ガラス／蛍光管	ガラス製品に再生

産廃処理費用推移

	01年度【基準年】	21年度	22年度	23年度	24年度
産廃処理費用	20,611	12,451	12,207	12,595	11,349
1店舗当たり (2001年比)	606	311 (51.4%)	305 (50.4%)	307 (50.7%)	277 (45.7%)

単位：千円



- ・日頃から廃棄物置場の4S
(整理・整頓・清掃・清潔)・分別を推進
- ・各廃部品は廃棄物置場にあるそれぞれの容器に
分別・細分化して保管
- ・指定業者にて適正処分
- ・産業廃棄物管理票(電子マニフェスト)で処分を確認
- ・アルミ缶・スチール缶・オイルフィルタ等を
「カンクラッシャー」にて圧縮して保管・排出



・日常点検で毎日廃油の漏れ、保管量を確認



- ・工場から出る排水はこちらで油分と水に分離
- ・毎週、汚れ・油浮きを点検・定期清掃実施



- ・特定施設(エアコンプレッサー・門型洗車機)の
騒音で近隣に迷惑をかけていないか点検実施
- ・その他 夜間照明・臭い・埃等の点検実施

8 古紙リサイクルの推進

2024年度 古紙リサイクル量(全店) **89,200kg**

樹齢30年の木 約1,784本分※3

オフィスから出る紙をリサイクルする取り組みを2009年度より始めました。

※3:50kgの紙は樹齢30年の木1本分と言われています。

9 トヨタ技術検定

2024年度 各種検定 保有状況

トヨタの技術力を支えるサービスエンジニア。茨城トヨベットには技術を磨いた整備のプロフェッショナルが数多く在籍しています。

2024年度
トヨタ技術検定1級保有状況

保有者数	保有者比率	店舗あたり
189人	70.5%	4.7人

2024年度 トヨタエスティメーション
(钣金見積もり)検定 1級保有状況

保有者数	1級在籍店舗比率
130人	100%



Corporate Information

茨城トヨペット株式会社 会社概要

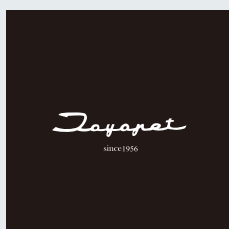
設立 1956(昭和31)年11月1日
 代表取締役会長 幡谷 定俊
 代表取締役社長 幡谷 俊一郎
 資本金 5,000万円
 従業員 801人(2025年4月現在)

営業状況(2025年3月期)

売上高 474.7億円
 新車販売台数 8,082台
 U-Car小売台数 2,725台
 車両総整備台数(社外) 205,763台
 車検整備台数 34,240台

事業内容

トヨタの新車販売、ウェルキャブ車販売、各種優良中古車販売(国産車)、自動車関連商品販売、メンテナンスパック:スマイルパスポート販売、自動車の点検・整備・修理業務、自動車買い取り(T-UP)、自動車リース、保険代理店(損害保険・生命保険等)、モバイル商品取扱い(au携帯電話販売等)、レクサス事業、カーシェアリング事業、洗濯代行・コインランドリー事業、キャンピングカー事業



NETWORK

県内全域に及ぶ
安心のネットワーク

お客様のカーライフを

県内全域に及ぶ安心のネットワークと

サービスエンジニアの確かな技術で

トータルサポートいたします。

ご自宅の近く、勤務先の近く、通勤途中など

お近くの店舗をご利用いただけます。



環境活動の国際規格、 ISO14001認証取得

茨城県内のトヨタ系ディーラー唯一のISO取得。
 茨城トヨペットはこれからも積極的に
 環境問題に取り組んでいきます。



茨城トヨペットは全店で
au携帯電話がご購入いただけます。

※GR Garage つくば、レクサスつくば、レクサスCPOつくば、レクサスCPO神栖、
 WASH&FOLD水戸千波店を除く。

Shop List

★ISO認証店舗(適用範囲:自動車の販売、整備及び修理)

県北エリア



① 大津港店 ★
北茨城市関南町神岡下339-1
0293-46-5551



② 日立田尻店 ★
日立市田尻町4-36-1
0294-42-9611



③ 日立森山店 ★
日立市森山町5-1-8
0294-52-6306



④ 大子バイパス店 ★
久慈郡大子町池田1312-2
0295-72-5671



⑤ 大宮バイパス店 ★
常陸大宮市泉517-6
0295-52-1171



⑥ 笠松運動公園店 ★
ひたちなか市佐和2335-7
029-285-4111



⑦ ひたちなか昭和通り店 ★
ひたちなか市中根888-1
029-272-5671

県央エリア



⑧ アートタワー水戸店 ※
水戸市千波町1987
029-387-3373



⑨ 水戸千波店 ★
水戸市千波町2028-1
029-241-1121



⑩ 笠間大鳥居店 ★
笠間市飯合100-1
0296-74-4511



⑪ 小川野田店 ★
小美玉市川戸1353
0299-58-2831



⑫ U-Carセンター6号水戸店 ★
東茨城郡茨城町長岡4255-3
029-292-7221



⑬ U-Carセンター6号みのり店 ★
小美玉市西郷地1531-7
0299-48-2070



⑭ WASH&FOLD 水戸千波店
水戸市千波町1913-5
029-241-4040

※アートタワー水戸店は仮設店舗へ移転して営業しております。

県南エリア



⑮ 石岡東大橋店 ★
石岡市石岡2930
0299-23-2291



⑯ 土浦並木店 ★
土浦市上坂田1468
029-862-3111



⑰ 土浦荒川沖店 ★
土浦市荒川沖471-1
029-842-1234



⑱ ひたち野うしく店 ★
牛久市ひたち野東1-24-4
029-871-4361



⑲ 牛久南店 ★
牛久市牛久町822
029-873-3936



⑳ 6号取手店 ★
取手市井野台4-1-1
0297-74-8111



㉑ 電ヶ崎出し山店 ★
龍ヶ崎市野原町79
0297-62-7631



㉒ 江戸崎店 ★
稲敷市江戸崎甲2561-1
029-892-5671



㉓ つくばみどりの店 ★
つくば市みどりの2-39-3
029-836-8868



㉔ つくば東大通り店 ★
つくば市妻木745-2
029-852-3234



㉕ つくば学園の森店 ★
つくば市学園の森3-7-1
029-856-7211



㉖ つくば西大橋店 ★
つくば市西大橋648-3
029-858-2850



㉗ 守谷松並店 ★
守谷市松並2000-42
0297-46-3511



㉘ U-Carセンター土浦高津店
土浦市上高津726-3
029-823-6116



㉙ GR Garage つくば ★
AREA298
つくば市学園の森3-2
029-859-5586



㉚ レクサスつくば ★
つくば市竹園1-4-3
029-855-7301



㉛ レクサスCPOつくば ★
つくば市西岡418-59
029-861-1150

鹿行エリア



㉜ 潮来店 ★
潮来市上戸304-1
0299-64-6010



㉝ 神栖店 ★
神栖市堀割3-3-8
0299-92-5420



㉞ 神栖知手店 ★
神栖市知手3106-19
0299-95-1121



㉟ レクサスCPO神栖 ★
神栖市木崎2406-181
0299-93-2322

県西エリア



㊳ 筑西市神分 ★
筑西市神分393-1
0296-24-5311



㊴ 古河東牛谷店 ★
古河市東牛谷492-5
0280-98-0500



㊵ 下妻店 ★
下妻市田下661
0296-43-3706



㊶ 常総石下店 ★
常総市新石下1648-1
0297-42-0567



㊷ 坂東店 ★
坂東市辺田1402-73
0297-36-0567

店舗で太陽光発電を積極的に導入



茨城トヨペットはカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けて、CO₂を排出しない太陽光発電を積極的に導入しています。現在、水戸千波店・ひたちなか昭和通り店・つくば学園の森店・つくばみどりの店・神栖知手店の5店舗にソーラーパネルを設置しております。



Message From Readers

前号(茨城トヨペット CSRレポート 2024)にてお客様から寄せられた

ご意見・ご感想

本誌への ご意見・ご感想

- 環境に関する記事が多角的に読みやすくまとめられており、保存するに値する冊子だと思います。
- 店舗で太陽光発電を積極的に導入するなど地球温暖化に対しても様々な取り組みをされていてすごく共感しました。
- 「社員への取り組み」に目がとまりました。一人ひとりを大切に、人間性を活かした能力開発は是非尽力して頂きたいと思いました。
- 茨城トヨペットが盲導犬協会に毎年積立金を寄付していることを知りませんでした。健常者以外の方々も生き甲斐の持てる社会であって欲しいです。
- 茨城トヨペット会長 幡谷さんの、お客様から「最高の笑顔」をいただくために、社員が「自分で考える」教育に力を入れている事に感動しました。
- 地域密着に社員の皆様が取り組んでいる事、また地球温暖化に対するエコボランティアにも取り組まれている事が素晴らしいです。
- 毎回とても楽しく興味を持って拝読しています。写真も多く見やすく飽きずに最後まで読み進められます。
- 環境への取り組みが具体的な数字で説明されており、興味深かったです。
- スタッフ一人ひとりが仕事に誇りを持って輝いている、素晴らしいです。
- 「環境報告」をしっかり読みました。ゴミ置き場は見たことがなかったのですが、きれいに分別されているのがわかりました。
- 今はあらゆる物がWebやアプリになり、中々画面を開かないですが、冊子というものは大変ありがたいです。
- 冊子がどのページも丁寧に作られていて、御社の真面目さが伺えます。

茨城トヨペットへの ご意見・ご要望

- 茨城県を代表とする企業の一つとしてこれからも地域活性化に努めていただきたいです。
- 御社の地球環境保全活動が更に広がる事を期待し、協力したいです。
- 女性と子どもだけでも入りやすいお店作りをお願いいたします。
- 盲導犬の活動が素晴らしいです。募金箱がもっと目立つといいですね。
- これからも成長し続ける企業であってほしいです。応援しています！
- 筑波サーキット等広い場所でのミニバンやセダン、SUV等を集めた試乗会のイベントがあれば良いと思いました。
- これからも充実した活動を続けていただき、地域に密着した店舗にしていだければと思います。
- 他の販売会社に見られない真面目な取り組みが人を育て、強い会社になると思いました。
- トヨタソーシャルフェスの存在は知りませんでした。素晴らしい取り組みだと思うので、もっとPRしても良いと思います。
- 私は公共のトイレに入る時いつも不安になりますが、茨城トヨペットさんのトイレは安心して入れます。とても立派なおもてなしだと思います。
- お店の中からピット内が見られるようにして欲しいです。愛車を丁寧に扱ってくれているかや、子どもがエンジニアに興味を持って将来の夢に繋がるように。
- 車の衝突回避を実体験できるイベントがあれば、ぜひ体験してみたいものです。
- いつも親切に対応していただき、今回もこちらの要望にあった車をすぐに探していただきました。お店の雰囲気もとても良いです。

読者の皆様が 環境や地域社会へ取り組んでいること

- 毎年トヨタソーシャルフェスに子どもと参加させていただいています。街中のごみや日常生活で出るゴミについて家族で考える機会になっています。
- 夏の冷房は26～27度で設定し、サーキュレーターを活用。又電池を買う時は充電式を購入しています。
- 参加することで環境貢献や社会貢献につながるウォーキングイベント等に積極的に参加しています。
- 学校で子供達にゴミを分別して捨てるだけではなく、大きいゴミは小さく切って捨てさせ、ゴミ袋も大切にすることを教えています。
- 人口減少されつつあるなか、この国に生まれて良かったと思ってもらえるよう、地域運動会・お祭り・お囃子・マルシェなどに参加しております。
- なるべくはがきを利用しないでメールを使うようにしています。郵送する方の負担とガソリン代が減ればと思っています。
- これまで献血を165回実施しています。私が誇る唯一の社会貢献です。
- 近隣のボランティア活動には、内容問わず自分が出来る事であればなるべく参加しています。
- 要らなくなったシャツなどを切ってストックしておき、油污れが気になる時はそれでフライパン、鍋、食器などを拭いてから洗うようにしています。
- 余熱、保温調理をする。小まめに電気を消す。お風呂の湯量を少なめにして、隔日で追い焚き入浴する。二重サッシで冷暖房費を抑える。
- 認知症のセミナーなどに行き、寄り添い色々なお話などをしたりしています。コミュニティーセンターや区民館を借りて60歳以上の方とストレッチなどをしています。
- 児童委員として、学校でのあいさつ運動や地域の見守り活動をしています。

たくさんの貴重なご意見・ご感想・ご要望、ありがとうございました。

ご意見・ご感想を お聞かせください

「茨城トヨペット CSRレポート 2025」を最後までご覧いただき、ありがとうございました。
皆様からのご意見・ご感想などをお聞かせください。
いただいたご意見・ご感想は今後の改善に活かしてまいります。

ご意見・ご感想をいただいた方の中から 毎月抽選で10人の方に

茨城トヨペット
オリジナル **ポリマルシェバッグ(L)**を
1つプレゼント致します。

使いやすいポリエステル素材の大容量マルシェバッグ。
人気のマルシェ型で簡単に折りたたみが可能!

サイズは大きく目大容量のため、スーパーなどの買い込み時にも使いやすいです。また、ポリエステル素材なので軽量、折りたたんでコンパクトになるので荷物が多いときなどのサブバッグにもおすすめ!



茨城トヨペットオリジナル
トヨペットクラウンロゴマーク入り

■写真は全てイメージです。
デザインは変更になる場合があります。

■サイズ: 本体/約320×360(持ち手含む530)(mm) 持ち手/約50×170(mm)
折りたたみマチ/約200(mm)

■容量: 約16L ■素材: ポリエステル

■抽選期間: 2026年6月まで

■当選の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

応募方法

応募はスマホから!

右下の二次元バーコードから応募フォームにアクセスし、必要事項とアンケートをご入力の上、送信してください。

■ご応募はお1人様1回限りとさせていただきます。

■SDGsの観点から、CO₂排出削減等の環境保全を目的として、応募はがきの添付を取りやめスマートフォンからのご応募にいたしました。何卒ご了承くださいませ。



応募フォーム

■お寄せいただいたアンケートのお答えご意見は、次回発行の「茨城トヨペット CSRレポート」に掲載させていただく場合があります。予めご了承ください。(個人名等は掲載いたしません) ■ご応募いただいた方の個人情報は、プライバシー保護を遵守し、プレゼントの発送業務以外には使用いたしません。

もしもの時に、つながる安心

茨城トヨペット 事故・故障 24Hヘルプデスク



0120-607-500

24時間 365日 対応

IP電話・携帯電話からもご利用いただけます

お客様にいつでもどこでも安心しておクルマにお乗りいただけるよう
当社営業時間外でも対応できる24Hヘルプデスクを設けています
おクルマに関することや緊急時のサポートなど
24時間365日、いつでも専任のオペレーターが安心をお届けいたします



とても便利な
専用スマホ
アプリを
ご利用ください



アプリをダウンロードすればスマートフォンひとつで安心です

電話帳を探さなくても
スマホのホーム画面で
アイコンをタッチ
すぐに電話をかけられます

よくあるトラブルも動画で解説

- ・ドアが解錠できない
- ・バッテリーがあがった
- ・タイヤがパンクした

ダウンロードはこちらから



ご利用時の 注意事項

■【茨城トヨペット 事故・故障 24Hヘルプデスク】のご利用は弊社システム内にお客様情報・車両情報の登録がされている方に限ります ■業務委託先に、本サービス提供のため必要な範囲内でおお客様の個人情報を提供させていただきます ■【茨城トヨペット 事故・故障 24Hヘルプデスク】はTEL受付コールセンターのため、営業時間外や弊社休業日の場合、お問い合わせ内容によっては翌営業日のご対応となる場合がございます

茨城トヨペットは、国連が掲げる「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けて真摯に取り組んでいます。



「SDGs(エスディージーズ)」とは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。

さまざまな分野にわたる国際社会共通の課題に対し、国や政府だけでなく、企業や市民一人ひとりがSDGsを自分のこととして考え行動していくことが大切です。



茨城トヨペットの
SDGsへの取り組み



この冊子は、計画的に植林された木材から生産された用紙に
環境負荷の低いベジタブルオイルインキを使用して
印刷されたものです。



茨城トヨペット株式会社 本社／水戸市千波町2028-1 <https://www.ibaraki-toyopet.co.jp/>

本社 お客様相談テレホン フリーダイヤル 0120-309567

※この番号は本社(水戸)に通じます。車検・整備等のお問合せは、お店にお電話下さい。
受付時間:AM9:30~PM5:30(土・日・祝 ~PM6:00)

※弊社は月曜定休日を基本としておりますが、不規則でお休みを頂く場合もございます。定休日の詳細はホームページをご覧ください。